



誠之小だより



学校HP

津市立誠之小学校

令和7年度 第6号

＜学校教育目標＞ 自ら学び心豊かでたくましい子どもを育てる 10月9日(木)(文責 校長)

令和7年度全国学力・学習状況調査結果から

今年4月17日(木)に、小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、「教科に関する調査」(学力:小学校は、国語・算数・理科、中学校は、国語・数学・理科)と「質問紙調査」(児童・生徒の学習状況)の2つで構成されています。結果について説明します。



【1 本年度の「教科に関する調査」の平均正答率より】

	国語	算数	理科
誠之小	67%	56%	57%
津市	65%	56%	55%
三重県	66%	57%	56%
全国	66.8%	58.0%	57.1%

正答率とは、全部の問題が正解であれば「100%」だということです。

誠之小は、「算数」が市・県・全国と比較して少し低いもののおおむねそれぞれの平均正答率と同じという結果でした。

なお、教科によって異なりますが、問題数は少なく、14問～17問です。各教科であと1問正解すれば、正答率が大きく変化することになります。

【2 結果からわかってきたことなど】

国語については、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる「思考力・判断力・表現等」の領域において一定の「強み」がみられるものの、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる「知識・技能」の領域において「弱み」になっている傾向があります。

算数については、はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみるなどの短答形式の回答について「強み」が見られるものの、「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる思考力を伴う問題に「弱み」が見られます。

また、理科については、実験器具の名称、実験方法、手順の理解はできているものの、レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかを考える問題に課題があることがわかりました。

これらの結果を踏まえ、観察や実験結果をもとに考察し、学級内で共有した後、結論を導き出す際に何を根拠とするのかといった思考の流れを重視した学習活動を実施していきたいと思います。また、知識・技能の定着を図るとともに、「弱み」として見られる、思考力・判断力・表現力等を育てるために子どもたちの対話や議論を通じて互いの多様な考え方の共通点や相違点を理解し、協力しながら問題を解決していく学習活動を実施していきたいです。



【3 質問紙調査の結果で気になったこと・・・全国平均と比較して低かった質問項目】

「将来の夢や目標をもっていますか」「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」など・・・とても気になります。

今後、教職員で児童の実態をしっかりととらえ、教育活動全体を見直したいと思います。

これまでの行事をいくつか紹介します

2学期になり、学校全体で様々な行事がありました。そのうちのいくつかを紹介したいと思います。

		
9月12日（金）に3年生が井村屋、三重県総合博物館に社会見学に行きました。たくさん学ぶことができました。	9月26日（金）に後期児童会役員選挙の立会演説会を行いました。全員で19人もの子どもたちが立候補しました。自分の思いをしっかりと発言することができました。	9月24日（水）の朝、児童会役員が出席し「まもってくれてありがとう運動モデル校 指定式」を行いました。交通ルールを守ることの大切さや挨拶の大切さを教えていただきました。

校長から

1学期の懇談会において、「児童が持ってきた水筒の水が、家に帰って飲もうとした時に、においや色が違うものになっていることがあり警察で調べてもらっている。」とのお話をさせていただきました。いろいろとご心配をおかけしています。

警察が調べたところ、水筒の液体は人の尿でその中から DNA が検出されたことから、保護者は警察に被害届を出しています。このような中、学校は水筒の管理の徹底や無人の教室の施錠、犯罪防止教室の開催など学校安全の徹底を図っています。引き続き、学校の安全について全職員で努めてまいります。何かございましたら学校までお知らせください。よろしくお願いいたします。

《今後の主な行事》 10月22日（水）授業参観2限、3限

10月29日（水）5年学年活動

10月30日（木）5年生社会見学

10月31日（金）PTA芸術鑑賞



